

爬虫類・両生類

爬虫類・両生類

爬虫類・両生類では特にカエル類の利用が盛んで、インドシナ半島に暮らす人々の食卓を支える貴重なタンパク源となっている。爬虫類は日常的に食べられてはいないようだが、身近で捕れるカメやトカゲ、ヘビなどを時々利用する。調査では爬虫類約 20 種、両生類約 20 種の利用を確認したが、市場に出回らない自家消費されている種も多いようである。

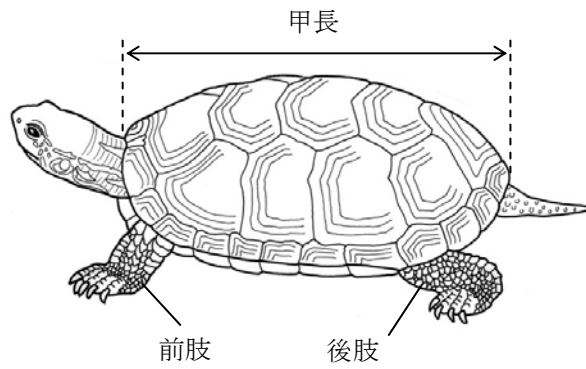
市場でよく見かける爬虫類は、ニシクイガメとイロカエカロテスである。特にニシクイガメは街中の市場でもよく売られているが、食用の他、放生（ほうじょう：捕えた生物を放して徳を積むこと）用としての用途が大きい。仏教国ならではの光景である。ニシクイガメを除くカメ類は、他の動物と比較して高価なものが多い。自分で採集しない限り、中々手が出ない食材であると想定される。ヘビ類も時々市場に出ており、好んで食べる人もいるようだが、日常的に利用される食材ではない。一部の市場ではオオトカゲを目にすることもある。爬虫類は日常的に利用される食材ではないかもしれないが、農村部では自家消費が盛んで、市場でも不定期ではあるが流通する身近な食材である。

両生類では、大型のババトラフガエル、小型のヌマガエルとアジアウキガエルが市場での出現頻度が高い。利用は成体に限らずオタマジャクシにも及び、市場でも取り扱われている。カエルは街中の食堂で食べることができるが、多くの場合、前者のババトラフガエルが調理される。ババトラフガエルは養殖が盛んで、年間通して入手が容易である。市場で販売されるのは養殖個体に限らず、野生個体の採集も盛んで、養殖ものより高く売られている。ババトラフガエルは例外だが、その他利用するカエルは基本的に野外から採集する天然ものである。カエルには旬があり、種によって市場で多く取り扱われている季節が異なる。利用する種の多くは集落周りの水域やその周辺の林で採集される水辺の幸で、身近な食材として人々に親しまれている。

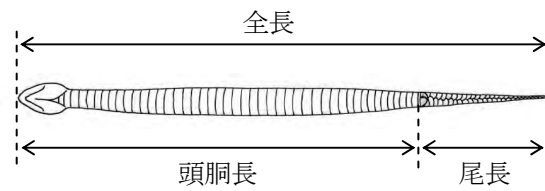


爬虫類・両生類形態

(カメ)

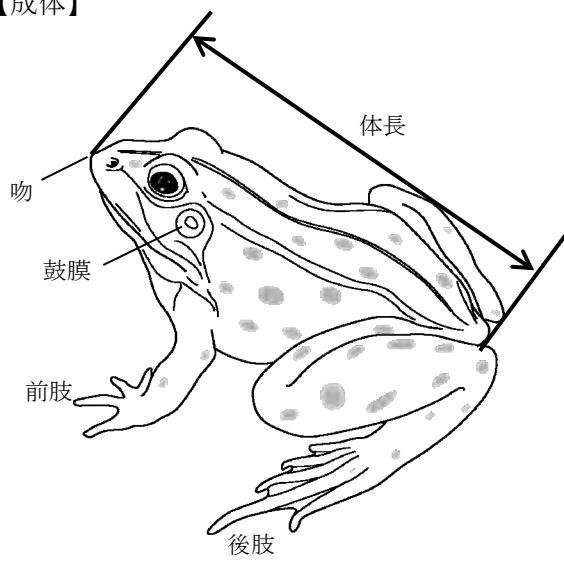


(ヘビ)

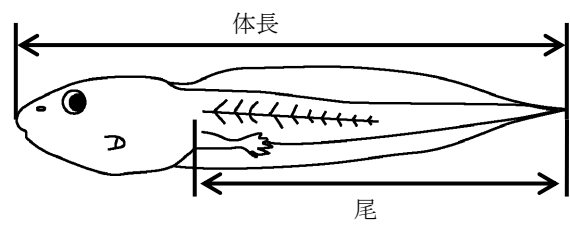


(カエル)

【成体】



【幼生】



Geoemydidae spp.

カメ目
イシガメ科

LA	Tao, Tao nam	
KH	Andawk	
TH		
VN	<u>Cyclemys dentata</u> ; Rua dua <u>Malayemys subtrijuga</u> :Rua ba go <u>Cuora amboinensis</u> ; Rua nap; Tua hop	<u>Cyclemys dentata</u> ; Rùa dứa <u>Malayemys subtrijuga</u> :Rùa ba gồ <u>Cuora amboinensis</u> ; Rùa nấp; Tùa hộp
JP	Ishi-game (Photo: Nokoheri-marugame)	イシガメ科の複数種



ノコヘリマルガメ *Cyclemys dentata*
23 May 2009 Phonekeo, Vientiane Province, Laos



ニシクイガメ *Malayemys subtrijuga*
19 Nov. 2009 Thong Khan Kham Market, Vientiane Capital, Laos



マレーハコガメ *Cuora amboinensis*
06 Nov. 2008 Neak Loeung, Kandal, Cambodia



ニシクイガメ *Malayemys subtrijuga*
19 Nov. 2009 Thong Khan Kham Market, Vientiane Capital, Laos

基本情報

温帯・熱帯アジアを中心にヨーロッパ南部や北アフリカおよび中央・南アジアに分布。

利 用

ノコヘリマルガメ、ニシクイガメ、マレーハコガメの食用利用が確認された。これらは焼く、スープにするなどして食べる。市場ではニシクイガメがよく売られているが、食用以外にも放生（ほうじょう：捕えた生物を放して徳を積むこと）用としての用途が大きい。カンボジアではマレーハコガメが 20 ドル/匹で売られており、他の食材と比較して非常に高額であった。

(参考文献)

千石正一 監・長坂拓也 編著 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.198. ビーシーズ.
日高敏隆 監・千石正一・疋田努・松井正文・仲谷一宏 編 (1996) 日本動物大百科〈全 11 巻〉第 5 巻 両生類・爬虫類・軟骨魚類, p.59. 平凡社.
松橋利光・富田京一 (2007) 山溪ハンディ図鑑 10 日本のカメ・トカゲ・ヘビ, p.10. 山と溪谷社.

Platysternon megacephalum

カメ目
オオアタマガメ科

LA	<u>Tao, Poulou</u>	
KH	<u>Andawk</u>	
TH		
VN	<u>Rua dau to</u>	<u>Rùa đầu to</u>
JP	<u>Ootama-game</u>	オオアタマガメ



オオアタマガメ

18 Sep 2011 Nan Pui, Sainyabuli, Laos



オオアタマガメ(腹面)

18 Sep 2011 Nan Pui, Sainyabuli, Laos

基本情報

中国南部・海南島・インドシナ半島に分布。甲長 11~20cm。溪流等に生息する。

利用

ラオスのサイニャブリー県において食用にされていた。主にスープにして食べる。中華料理の材料として高値（聞き取りでは 100 万 kip $\div$ 1 万円/kg）で取引される。野外で採集したものを育てた後、出荷する半養殖も行われている。採集は山間部の溪流で行われる。

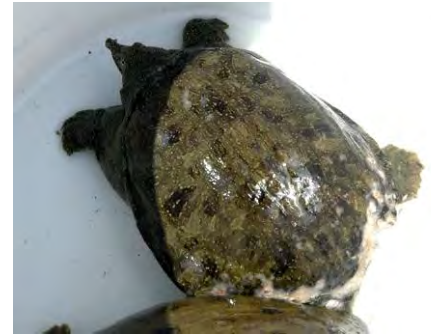
(参考文献)

千石正一 著 (1994) 爬虫両生類飼育図鑑 カメ・トカゲ・イモリ・カエルの飼い方, p.54. 株式会社マリン企画.

Trionychidae spp.

カメ目
スッポン科

LA	<u>Pa fa</u>	
KH	<u>Konthiey</u>	
TH	<u>Tapab nam</u>	
VN	<u>Ba ba; Cua dinh</u>	<u>Ba ba; Cua dinh</u>
JP	<u>Suppon</u>	<u>スッポン科の複数種</u>
	<u>(Photo: Maru-suppon)</u>	



マルスッポン *Pelochelys cantorii*
23 May 2009 Phonekeo, Vientiane Province, Laos

利 用

各国で食用利用される。主にスープとして利用する。ラオスではマルスッポンの利用を確認した。

Testudinidae spp.

カメ目
リクガメ科

LA	<u>Tao</u>	
KH		
TH		
VN	<u>Rua nui vien</u>	<u>Rùa núi vàng</u>
JP	<u>Riku-game</u>	<u>リクガメ科の複数種</u>
	<u>Photo:Bekkou-mutsuashi-game</u>	



ベッコウムツアシガメ *Manouria impressa*
25 May 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos



リクガメの卵 (種不明)
19 Nov 2011 Dong Makkai Market, Vientiane Capital, Laos

利 用

ラオスでは成体と卵が食用利用される。市場でベッコウムツアシガメの成体とリクガメ類の卵が売られているのを確認した。成体はスープに、卵は茹でて食べる。

LA	<u>Ka pom</u>	
KH	<u>Bong kuoi</u>	
TH		
VN	<u>Kỳ nhông; Cắc kè</u>	<u>Kỳ nhông; Cắc kè</u>
JP	<u>Irokae-Karotesu</u>	<u>イロカエカロテス</u>



イロカエカロテス

25 Jun. 2010 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



市場で売られるイロカエカロテスの生体

14 Feb. 2010 Lak8 Market, Savannakhet, Laos

基本情報

南西アジアからインド、インドシナ、中国南部、スマトラ、スリランカ。モーリシャス、レユニオンなどのインド洋の島々に分布。全長は通常 35 cm 程度だが、最大で 50cm になる。胴側面の体鱗は体の上斜め後ろを向く。体色は変化し、赤くなったり、金属光沢の強い青色になったりする。森林棲だが人家の近くにもいる。大型の個体、とくにオスは高木の高いところにいる傾向がある。

利 用

ラオスの市場で 10,000kip (約 100 円) / 3 頭で売られていた。焼く、ラープにするなどして食べる。集落周辺の林などで採集される。

(参考文献)

千石正一 監・長坂拓也 編 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.36. ビーシーズ.

Physignathus cocincinus

有鱗目
アガマ科

LA	<u>Ka thang</u>	
KH		
TH		
VN	<u>Rong dat; Nhung cat</u>	<u>Rồng đất; Nhông cát</u>
JP	<u>Indo-China-water-dragon</u>	<u>インドシナウォータードラゴン</u>



インドシナウォータードラゴン

18 Sep. 2011 Sainyabuli Market, Sainyabuli, Laos



インドシナウォータードラゴン

18 Sep. 2011 Sainyabuli Market, Sainyabuli, Laos

基本情報

南中国からインドシナにかけて分布。全長 60~90cm。平地の森林などに生息する。昼行性。半地上生で、木にもよく登る。体色は緑色で、多少変色能力がある。

利用

ラオスでの食用利用を確認した。焼く、ラップにするなどして食べる。

(参考文献)

千石正一 著 (1994) 爬虫両生類飼育図鑑 カメ・トカゲ・イモリ・カエルの飼い方, p.28. 株式会社マリン企画.

千石正一 監・長坂拓也 編 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.39. ビーシーズ.

LA	<u>Laen</u>	
KH	<u>Trokuot</u>	
TH		
VN	<u>Ky da van; Ky da hoa</u>	<u>Kỳ đà vân; Kỳ đà hoa</u>
JP	<u>Higashi-bengal-ootokage</u>	<u>ヒガシベンガルオオトカゲ</u>



ヒガシベンガルオオトカゲ

27 May 2009 Tha Heua Market, Louang Phrabang, Laos



網焼き料理

12 Sep. 2011 Ton Vieng Kham, Bolikhamsai, Laos

基本情報

中国広東州南西部（雷州半島は除く）、広西壮族自治区、雲南省南部、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー東部および南部、マレー半島、スマトラ島、ジャワ島、小スンダ列島に分布。全長 140cm 前後（頭胴長 54 cm 前後）の大型トカゲ。郊外のちょっとした林や緑地などで見ることができる。小さな餌を大量に食べることで知られ、コガネムシなどの甲虫類やバッタ類、アリ、サソリ、ムカデ、カタツムリなどの無脊椎動物がその大半を占める。

利用

ラオスとカンボジアにおいて、成体や卵が食べられている。特にラオスのルアンパバーン周辺の市場ではよく利用され、成体が 45,000kip（約 450 円）/kg で売られていた。生きた個体は暴れないように手足を背中側で縛られた状態で売られる。成体は網焼き、スープ、ラップなどにして食べる。ラオスの網焼き料理では、骨ごとぶつ切りにした肉にニンニク、唐辛子、レモングラス、魚醤、塩、うま味調味料で味をつけて焼く。卵は茹でて食べる。

採集はくくり罠のような道具を用いて行われる。

（参考文献）

Go!! Suzuki 著・クリーパー編集部 編（2006）爬虫・両生類ビジュアルガイド オオトカゲ&ドクトカゲ, pp.104-105. 誠文堂新光社.

千石正一 監・長坂拓也 編（1999）爬虫類・両生類 800 種図鑑, pp.66-67. ビーシーズ.

Colubridae spp.

有鱗目
ナミヘビ科

LA	<u>Ngu</u>	
KH	<u>Poah</u>	
TH		
VN	<u>Ran bong sung</u>	<u>Rắn bông súng</u>
JP	<u>Nami-hebi</u>	<u>ナミヘビ科の複数種</u>
	<u>(Photo:Shina-mizuhebi)</u>	



シナミズヘビ *Enhydryis chinensis*

29 May 2009 Norng Bon, Vientiane Capital, Laos



ヘビの串焼き

06 Nov. 2008 Neak Loeung, Kandal, Cambodia



市場で売られるナミヘビ科の一種

09 Nov. 2008 Tha Heua Market, Louang Phrabang, Laos



ハイロミズヘビ *Enhydryis plumbea*

25 Aug. 2010 Phonekeo, Vientiane Province, Laos

利用

利用頻度は低いですが、各国で食用利用される。焼く、ラップ、スープなどにして食べる。酒に漬けることもあり、ラオスのルアンパバーンでは観光客向けに販売されているのをよく見かける。カンボジアでは小型ヘビの串焼きが1ドル/2頭で売られていた。各家庭でも自家消費しているようだが、詳細は不明である。



キスジヒバ *Amphiesma stolatum*
27 Jul. 2008 Vientiane Capital, Laos



Dendrelaphis pictus
07 Aug. 2010 Phonekeo, Vientiane Province, Laos



ヘビを浸けた酒のお土産
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



ハイイロミズヘビ *Enhydris plumbea* を浸けた酒
見た目をよくするため、頸部には段ボールが詰めてあった
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



ハナナガムチヘビ *Ahaetulla nasuta* を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



オオアオムチヘビ *Ahaetulla prasina* を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



アズキマダラオオガシラ *Boiga multomaculata* を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



ゴールド Tent ビヘビ *Chrysopelea ornata* を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



キノボリアトバ *Dryocalamus davisonii* を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



Oligodon purpurascens を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



Oligodon sp. を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos



ソウカダ *Xenochrophis piscator* を浸けた酒
28 May 2009 Xang Hai, Louang Phrabang, Laos

Duttaphrynus melanostictus

カエル目
ヒキガエル科

LA	<u>Khan khak</u>	
KH	<u>King kuok</u>	
TH		
VN	<u>Coc nha</u>	<u>Cóc nhà</u>
JP	<u>Heriguro-hikigaeru</u>	ヘリグロヒキガエル



ヘリグロヒキガエル成体

17 Sep. 2007 Wat Preah Yesu, Siem Reap, Cambodia



ヘリグロヒキガエル幼体

11 Feb. 2010 Mouth, Louang Phrabang, Laos

基本情報

南アジアと東南アジアの中国とパキスタンから、インドシナ、マレーシア、ボルネオ島、インドネシアまで分布する。体長 60~110mm。眼の上から吻端にかけて、黒く縁取られた隆起がある。体色は灰色、赤褐色、黄色など変異がある。卵塊は紐上で、幼生は全長 20mm になる。耕作地などの攪乱された環境に多く、集落内や都市部でも見られる。

利用

普通、市場には流通していないが、タイ北部、ラオス、カンボジアでは皮を剥いで、揚げる、焼くなどして食べる。カンボジアの聞き取りでは、おいしいカエルとして高く評価されていた。

(参考文献)

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.144-145. ネコ・パブリッシング.

千石正一 監・長坂拓也 編著 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.254. ビーシーズ.

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

LA	<u>Khiat moo</u>	
KH	<u>Kongkaeb ai(ch)ko, Ai(ch)ko</u>	
TH		
VN	<u>Nhai ngoe</u>	<u>Nhái; Ngóe</u>
JP	<u>Numa-gaeru</u>	ヌマガエル



ヌマガエル成体

28 Jun. 2010 Phonekeo, Vientiane Province, Laos



市場で販売されるヌマガエル

22 Jul. 2008 Nong Chanh Market, Vientiane Capital, Laos

基本情報

パキスタン、インドから日本の熱帯アジアに広く分布する。体長 32~58mm。頭部は細く、吻はやや尖る。背面には短い隆起があり、中央に白っぽい線がある個体もいる。腹面は白い。水田などの二次的自然に生息し、集落の近くでも見られる。個体数は多く普通に見られる。繁殖は雨季に行われ、水田や一時的水域などで産卵し、1~2 カ月で変態する。

利用

インドシナの小型食用ガエルとしては最も一般的な種で、市場で成体が売られている。内臓を取り除き、揚げて骨ごと食べることが多い。スープや炒め物にも利用する。

民家周辺や水田などの身近な環境に生息し、個体数も多いため、自家消費用の採集も盛んである。夜間の見つけ捕りで採集することが多く、発見した個体を素手やタモ網で捕える。ラオスの採集人からの聞き取りでは、市場関係者と取引をする場合は約 25,000kip (約 250 円) /kg で売るという (Vientiane Province)。

(参考文献)

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.306-307. ネコ・パブリッシング.

前田憲男・松井正文 (1989) 日本カエル図鑑, pp.108-111. 文一総合出版.

『The IUCN Red List of Threatened Species』 <http://www.iucnredlist.org/>

Hoplobatrachus rugulosus

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Kob na</u>	
KH	<u>Kongkaep ouk</u>	
TH		
VN	<u>Ech dong</u>	<u>Ếch đồng</u>
JP	<u>Babatorafu-gaeru</u>	ババトラフガエル



ババトラフガエル成体

23 Jul. 2008 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



揚げ物

12 Sep. 2007 Vientiane Capital, Laos

基本情報

インドシナ半島から中国、台湾に分布。マレーシア、フィリピンにも移入されている。ヌマガエルに似るが、本種の方が大型になる。幼体は後肢の水かきが発達することで同サイズのヌマガエルと区別できる。腹面は白く、顎の部分にはまだら模様がある。水田、湿地、氾濫原、池などの水辺に生息する。

利用

インドシナの食用ガエルで最も一般的な種で、多くの市場で売られている。内臓を取り除き、揚げる、焼く、煮るなどして食べる。香草やひき肉を詰めて揚げた料理やチリペーストの主材料に使うこともある。干物は焼くか揚げて食べる。体は大きく、食べ応えがある。

本種は養殖が盛んで、タイやラオスでは種苗の販売が行われている。市場では養殖個体が多く取引されているが、一般的に野生個体の方が美味とされ、野外での採集も盛んに行われている。採集は夜間の見つけ捕りや、設置式の釣り罟、籠罟などを用いて行う。見つけ捕りは素手に加え、手網や鉈、鉈撃ち銃などを用いる。ラオスでは **Bet Kob** と呼ばれる竹製の釣り罟（置き針）があり、30 個の罟に餌のミミズをつけて水際に一晚放置すると、10~15 個体が採集できるという。また、**Toum Kob** と呼ばれる竹製の籠罟があり、餌の魚の切り身などを入れて水際に一晚置くと、20 個の罟で 1~2kg の収穫がある。これは 10~2 月頃によく使われるが、釣り罟の方が効率はよいという。自家消費以外個体は、約 40,000kip (約 400 円) /kg で市場関係者に売られる。調査では同属の *H. chinensis* も確認されている。

(参考文献)

池ノ上宏・佐野幸輔 (2004) ラオスのカエル. NARC アジア農山漁村ネットワーク.

「Amphibia Web」 <http://amphibiaweb.org/index.html>



腹面

23 Jul. 2008 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



幼生

27 Jun. 2010 Phonekeo, Vientiane Province, Laos



後肢を縛られて売られる成体

22 Jul. 2008 Nong Chanh Market, Vientiane Capital, Laos



干物

12 Sep. 2007 Thong Khan Kham Market, Vientiane Capital, Laos



夜間採集の様子

28 Jul. 2010 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



釣り罟(現地名 Bet Kob)を仕掛ける男性

30 Jun. 2010 Had Saun, Vientiane Capital, Laos



釣り罟(現地名 Bet Kob)の束

23 Jul. 2008 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



左写真の束を一晩仕掛けて捕れたババトラフガエル

23 Jul. 2008 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



籠罟(現地名 Toum Kob)

03 Sep. 2010 Na Pak, Vientiane Capital, Laos



設置完了時は入り口だけが見える

03 Sep. 2010 Na Pak, Vientiane Capital, Laos



籠罟の設置は水際で行う

03 Sep. 2010 Na Pak, Vientiane Capital, Laos



掘った穴に籠罟を埋める

03 Sep. 2010 Na Pak, Vientiane Capital, Laos



コンクリート樹で養殖される成体

12 Nov. 2008 Sivilay, Vientiane Capital, Laos



Hoplobatrachus chinensis

04 Nov. 2008 Tropeang Thom Khang Cheung, Takeo, Cambodia

LA	<u>Khiat tapath, Khiat lang khiew</u>	
KH	<u>Kanchang cheik</u>	
TH		
VN	<u>Chang hui xanh</u>	<u>Chàng hui xanh</u>
JP	<u>Asia-midori-gaeru</u>	アジアミドリガエル



成体

31 May 2009 Na Ngom, Vientiane Capital, Laos



生息環境

15 Aug. 2007 Kampong Phluk, Siem Reap, Cambodia

基本情報

東南アジアに分布。体長 32~75mm。背中の色は緑色で、黒く縁取られた白い背側線が目立つ。ただし、背中が茶色い個体もある。腹面は白い。後肢は非常に長い。オスはメスよりも明らかに小さい。水田、集落、畑、森林などに広く生息し、攪乱された場所に多い。年中繁殖し、流れのない浅い水域に産卵する。

利用

市場ではほとんど見られないが、普通に自家消費されている。揚げると、焼く、スープにするなどの方法で食べる。干物にすることもある。カンボジアでは、路端屋台で串焼きや天ぷらが売られていた。

Hylarana 属は複数種の利用を確認したが、いずれの種も利用方法は同じである。

(参考文献)

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.334-335. ネコ・パブリッシング.

千石正一 監・長坂拓也 編著 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.268. ビーシーズ.

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

「Amphibian Species of the World 5.5, an Online Reference」 <http://research.amnh.org/vz/herpetology/amphibia/>

Hylarana guentheri

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Khiat makleuang</u>	
KH	<u>Kanchang cheik dai</u>	
TH		
VN	<u>Chau chang</u>	<u>Chẫu chàng</u>
JP		



Hylarana guentheri 成体

22 Jul. 2008 Dong Makkai Market, Vientiane Capital,
Laos

基本情報

中国、台湾からベトナムにかけて分布。体長 63~76mm。オスはメスよりも小さい。体色は茶色で、腹面は白い。後肢とその指は長い。水田、湿地、沼などに生息する。

(参考文献)

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

Hylarana macrodactyla

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Khiat tapath, Khiat lang saek</u>	
KH	<u>Kanchang cheik</u>	
TH		
VN	<u>Chang hui</u>	<u>Chàng hui</u>
JP	<u>Yubinaga-tonosama-gaeru</u>	<u>ユビナガトノサマガエル</u>



ユビナガトノサマガエル 成体

25 Jul. 2008 Naphang, Vientiane Province, Laos

基本情報

中国南部からインドシナ・マレー半島に分布。体型はスマートで、吻も細い。後肢、各指は長い。湖、氾濫原、水田などに生息する。

(参考文献)

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

Hylarana taipehensis

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Khiat tapath, Khiat lang saek</u>	
KH	<u>Kanchang cheik</u>	
TH		
VN	<u>Chang hui dai bac</u>	<u>Chàng hui Đài Bắc</u>
JP		



Hylarana taipehensis 成体
29 May 2009 Norng Bon, Vientiane Capital, Laos

基本情報

台湾、中国からインドシナ半島にかけて分布。バングラデシュからの記録もある。体型はスマート。後肢は非常に長い。ユビナガトノサマガエルに似る。水田、氾濫原、湿地、林内の池などに生息する。

(参考文献)

「Amphibian Species of the World 5.5, an Online Reference」 <http://research.amnh.org/vz/herpetology/amphibia/>

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

Hylarana nigrovittata

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Khiat lueong, Khiat ta oad</u>	
KH	<u>Kanchang cheik</u>	
TH		
VN	<u>Ech suoi</u>	<u>Ếch suối</u>
JP		



Hylarana nigrovittata 成体
22 Nov. 2009 Mueng Song Market, Vientiane Province, Laos

基本情報

中国からインドシナ半島、マレー半島にかけて分布。スマトラやインドからも記録がある。常緑林の緩やかな流れに生息する。

(参考文献)

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

LA	<u>Khiat khakham, Kob hin,</u>	
	<u>Kob houay</u>	
KH	<u>Kongkaep</u>	
TH		
VN	<u>Ech tron</u>	<u>Ếch tron</u>
JP	<u>Kuhl-gaeru</u>	クールガエル



クールガエル成体

22 Nov. 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos



クールガエル腹面

22 Nov. 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos

基本情報

東南アジアに分布。インドからも記録がある。体長 44~67mm。頭と胴体は幅広く、体型はずんぐりしている。オスはメスよりも頭の幅が広い。後肢には水かきがあるが、前肢にはない。高地林を流れる溪流に生息する。夜行性で、水からあまり離れない。

利用

時々市場で売られている。揚げる、焼く、干物にする、スープにするなどの方法で食べる。ラオスでは味の評価が高く、都市部の市場では高値で取引される。河川脇の林縁において、ライトを使った夜間の見つけ捕りで採集される。山に近い地域の市場でよく見かける。

(参考文献)

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.310-311. ネコ・パブリッシング.

「The IUCN Red List of Threatened Species」 <http://www.iucnredlist.org/>

Odorrana sp. (cf.livida)

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Khiat leuang, Khiat khiew, Khiat tapath</u>	
KH	<u>Kanchang cheik</u>	
TH		
VN	<u>Ech nui xanh</u>	<u>Ếch núi xanh</u>
JP		



Odorrana sp. 成体
22 Nov. 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province,
Laos

利 用

ラオスのバンビエンにある市場で売られていた。揚げる、焼く、蒸す、干物にする、スープにするなどの方法で食べる。川の近くの林において、ライトを使った夜間の見つけ捕りで採集される。

Sylvirana lateralis

カエル目
アカガエル科

LA	<u>Khiat tapath</u>	
KH	<u>Kanchang cheik</u>	
TH		
VN		
JP		



Sylvirana lateralis 成体
25 May 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province,
Laos

利 用

揚げる、焼く、干物にする、スープにするなどの方法で食べる。

LA	<u>Khiat taath, Khiat tana,</u>	
	<u>Khiat sa</u>	
KH	<u>Kounk'at</u>	
TH		
VN	<u>Cocnuoc lima</u>	<u>Cóc nước lima</u>
JP	<u>Asia-uki-gaeru</u>	<u>アジアウキガエル</u>



アジアウキガエル成体

23 Jul. 2008 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



ヤゴ、小魚などと一緒に蒸した料理

26 Jun. 2010 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos

基本情報

インドシナ半島からインドのベンガル地方までとマレー半島からジャワ島にかけて分布。体長25~35mm。体色は褐色～緑色。目は上部に飛び出しており、肢の水かきは発達している。幼生は尾が長く、ヒレが部分的に幅広くなっている。水田、湿地、水路、池、湖沼などの水辺に生息し、個体数も多い。水に浮かび、突出した眼を水面から出している事が多い。ほぼ水辺で生活し、小型の水生昆虫などを食べる。

利用

よく食べられるが、体が小さいこともあり本種だけで売られていることは少なく、ゲンゴロウ類幼虫やヤゴ、エビ、オタマジャクシなどと混ざっていることが多い。揚げ、焼く、蒸す、スープに入れるなどして食べる。ラオスでは他の水生小動物と一緒にバナナの葉に包んで蒸し焼きする。食用以外では、肉食魚を捕らえるはえ縄の餌として利用することがある。また、鑑賞用肉食魚の餌としても流通している。

採集は小型の網やザル、引き網を使って行われる。

(参考文献)

海老沼剛 (2006) 爬虫・両生類ビジュアルガイド カエル① ユーラシア大陸、アフリカ大陸とマダガスカル、オーストラリアと周辺の島々のカエル, p.65. 誠文堂新光社.
千石正一 監・長坂拓也 編著 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.269. ビーシーズ.



眼は上部に突出する
29 May 2009 Norng Yao, Vientiane Capital, Laos



発達した水かき
16 Sep. 2007 Arak Svay, Siem Reap, Cambodia



幼体
12 Sep. 2007 Phoxai, Vientiane Capital, Laos



特徴的な尾をした幼生
28 Jun. 2010 Phone Ngeun, Vientiane Province, Laos



眼を水面に出して浮かんでいることが多い
01 Aug. 2010 Napuheuy, Vientiane Province, Laos



水生昆虫などに混じって売られている
10 Jun. 2007 New Nong Neow Market, Vientiane Capital, Laos



はえ縄の餌として利用される
15 Sep. 2007 Kampong Phluk, Siem Reap, Laos



採集は小型の網やザルを使う
28 Jun. 2010 Houay Yae, Vientiane Province, Laos

LA	<u>Khiat tapath khayao, Khiat tapad</u>	
KH	<u>Kongkaeb ai(ch)ko, Ai(ch)ko</u>	
TH		
VN	<u>Ech cay mep trang</u>	<u>Ếch cây mép trắng</u>
JP	<u>Shiroago-gaeru</u>	<u>シロアゴガエル</u>



シロアゴガエル成体

29 Jul. 2010 Pakkagnoung, Vientiane Province, Laos



揚げ物

24 May 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos

基本情報

ネパールからインドネシア、フィリピンにかけての南アジアと東南アジアに分布。日本にも移入されている。体長は 37~75mm。体は細く、四肢は長い。指は長く、発達した吸盤がある。上唇は白い。背中には 4 本の暗い線があるが、不明瞭な個体も多い。幼生の眼は頭部外側にあり、左右で離れている。尾の中央部で丈が高くなる。低地の集落、耕作地、林縁など様々な場所に生息し、市街地でも見られる。夜行性で、樹上にいることが多いが、草むらや地面などにも見られる。産卵は水際、水たまり、貯水槽の縁などで行われ、クリーム色の泡に包まれた数百の卵からなる卵塊を産む。

利用

主に揚げて食べる。採集はライトを使った夜間の見つけ捕りが行われる。ラオスのドンマカイ村、クンヌア村で採集に同行した際には、集落や湿地周辺の低木上に多く見られ、簡単に手で捕まえていた。同属のタイワンシロアゴガエル *Polypedates megacephalus* も市場で取り扱われていた。

(参考文献)

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.414-415. ネコ・パブリッシング.

多紀保彦 監・自然環境研究センター 編著 (2008) 日本の外来生物, pp.119-120. 平凡社.

前田憲男・松井正文 (1989) 日本カエル図鑑, pp.158-161. 文一総合出版.

「Amphibia Web」 <http://amphibiaweb.org/index.html>.



シロアゴガエルのオスとメス
29 Jul. 2010 Dong, Vientiane Province, Laos



シロアゴガエル幼体
16 Sep. 2007 Arak Svay, Siem Reap, Cambodia



シロアゴガエル幼生
28 Jun. 2010 Phone Ngeun, Vientiane Province, Laos



シロアゴガエル卵塊
27 Jul. 2008 Nathone, Vientiane Capital, Laos



夜間のシロアゴガエル採集
28 Jul. 2010 Dong Makkai, Vientiane Capital, Laos



タイワンシロアゴガエル *Polypedates megacephalus*
23 May 2009 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos

LA	<u>Eung yang</u>	
KH	<u>Hing</u>	
TH		
VN	<u>Enh uong</u>	<u>Enh ương</u>
JP	<u>Asia-jimuguri-gaeru</u>	<u>アジアジムグリガエル</u>



アジアジムグリガエル成体

12 Sep. 2007 Hou Kua Market, Vientiane Capital, Laos



市場では生体が売られていることが多い

27 Jun. 2010 Vang Vieng Market, Vientiane Province, Laos

基本情報

インドから中国にかけての熱帯アジアに分布する。体長 54~75mm。頭部は小さく、ずんぐりした丸っこい体形で手足は短い。指は細長く、その先は膨らむ。後肢には水かきがある。皮膚は滑らかで褐色をしている。吻端〜体側に明褐色の線が入る。腹面は白っぽい色をしているが、全体的に薄くまだら模様があり、顎は黒っぽい。危険を感じると体を膨らませる。主に平地の林床などに生息している。人間活動による環境の変化によく適応しており、街の周りや水田周辺にも多い。夜行性で日中は落ち葉や石の下などに隠れている。アリを主とする様々な小昆虫を食べる。一時的な水たまりなどで産卵を行う。

利用

焼く、スープにするなどして食べる。ラオス、カンボジアでは味の評価が高い。夜間に水田周辺へ出かけて、ライトを照らしながら本種を手づかみで採集する。林に近い水田で多く収穫できるという。雨期に入った直後の 6~7 月に多く成体が見られ、その他期間はあまり採集できないという。カンボジア名の「Hing」は鳴き声を形容している。

(参考文献)

海老沼剛 (2006) 爬虫・両生類ビジュアルガイド カエル①ユーラシア大陸、アフリカ大陸とマダガスカル、オーストラリアと周辺の島々のカエル, p.100. 誠文堂新光社.

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.480-481. ネコ・パブリッシング.

千石正一 監・長坂拓也 編著 (1999) 爬虫類・両生類 800 種図鑑, p.276. ビーシーズ.

「Amphibia Web」 <http://amphibiaweb.org/index.html>.



アジアジムグリガエル背面

12 Sep. 2007 Nong Chanh Market, Vientiane Capital, Laos



アジアジムグリガエル腹面

12 Sep. 2007 Nong Chanh Market, Vientiane Capital, Laos



大きく膨らんで威嚇する

27 May 2009 Nakha, Louang Phrabang, Laos



生息地

27 May 2009 Nakha, Louang Phrabang, Laos



林縁で多く見つかる(聞き取りより)

27 May 2009 Nakha, Louang Phrabang, Laos

LA	<u>Khane khak, Khat kha kham</u>	
KH	<u>Kongkaep koun kromom</u>	
TH		
VN	<u>Nhai bau</u>	<u>Nhái bầu</u>
JP	<u>Oohime-amagaeru</u>	オオヒメアマガエル



オオヒメアマガエル成体

19 Nov. 2009 Dong Makkai Market, Vientiane Capital, Laos



市場で売られる生体(オオヒメアマガエル)

22 Nov. 2009 Mueng Song Market, Vientiane Province, Laos

基本情報

インド東北部、バングラデシュ、中国南部からインドシナ半島、マレー半島までとスマトラ島、ボルネオ島に分布。体長 24~32mm。背中にはいぼがある。後肢とその指は長い。低地の一次林に生息するが、二次林でも見られる。夜行性。

利用

揚げる、焼く、干物にする、スープにするなどの方法で食べる。ラオスの市場では4個体が1,000kip(約10円)で売られていた。

本種以外のヒメアマガエル類も同様に利用される。調査では *Microhyla fissipes*、*Kalophrynus interlineatus* の利用を確認しているが、未同定のものもある。これらの採集は夜の見つけ捕りで行われる。ラオスのチャンパサック県では、乾季にヒメアマガエル類の採集が行われている。夜間に沢沿いを歩くと、落葉のある場所に成体が溜まっており、簡単に採集できた。

(参考文献)

クリス・マチソン 著・松井正文 訳 (2008) 世界カエル図鑑 300 種, pp.486-487. ネコ・パブリッシング.
「Amphibia Web」 <http://amphibiaweb.org/index.html>.



オオヒメアマガエル背面

19 Nov. 2009 Dong Makkai Market, Vientiane Capital, Laos



生きて売られる オオヒメアマガエル

19 Nov. 2009 Dong Makkai Market, Vientiane Capital, Laos



生きて売られる *Microhyla fissipes*

14 Feb. 2010 Seno Market, Savannakhet, Laos



ヒメアマガエル類の採集を行う沢

20 Jan. 2013 Salao, Champasak, Laos



落葉周辺でヒメアマガエル類を集める夫婦

20 Jan. 2013 Salao, Champasak, Laos



約 20 分、2 名で採集したヒメアマガエル類

20 Jan. 2013 Salao, Champasak, Laos



Microhyla fissipes

17 Aug. 2010 Phonekeo, Vientiane Province, Laos



Kalophrynus interlineatus

26 Jul. 2008 Sivilay, Vientiane Capital, Laos

